記者発表案内

［提供年月日］　令和8年（2026年）9月11日
［所　　属］　BiWACC　びわ湖芸術文化交流センター
（公益財団法人びわ湖芸術文化財団　地域創造部）
［事 業 担 当］　石井　ishii-aoi33@biwako-arts.or.jp
［連　絡　先］　Tel.077-523-7146／Fax.077-523-7147

令和8年度しがアートコラボレーション事業

世界をめぐるコンサート　英語オペラ「電話」 ―言葉と音楽でつながる、多文化共生― 記者発表のお知らせ

このたび、びわ湖芸術文化交流センター（以下、BiWACC（ビワック））と MEET BY CHANCE の協働により、12月8日（火）に、『世界をめぐるコンサート　英語オペラ「電話」―言葉と音楽でつながる、多文化共生―』を開催します。ジャン＝カルロ・メノッティの英語オペラ「電話」の鑑賞と事前学習を通して、英語と異文化理解を学ぶ、教育プログラムです。愛荘町立秦荘中学校と、ブラジル学校サンタナ学園、フリースクールへの出張授業で事前学習を行ったあと、生徒たちを招待し、オペラ公演を行います。

つきましては、以下の日程で出張授業の見学と記者発表を行いますので、ぜひともご出席くださいますようお願いいたします。

記者発表

日時：2026 年10 月 21 日（水）10:00～12:00

会場：ブラジル学校サンタナ学園（愛知郡愛荘町長野 2094-16）

※駐車場あり（約 20 台）



内容：サンタナ学園での出張授業の見学のあと、記者発表を行います。

10:00～10:45　授業見学

11:00～12:00　記者発表

世界をめぐるコンサート　英語オペラ「電話」―言葉と音楽でつながる、多文化共生―　概要

日時：2026 年 12 月8日（火）14:00 開演

会場：ハーティーセンター秦荘（愛知郡愛荘町安孫子 822 番地）

料金：一般 1,000 円（当日 200 円増）、18 歳以下無料【9月 12 日（土）発売開始】（全席自由）

内容：アメリカ人の英語の先生によるトークと、オペラの鑑賞。
招待された生徒たちだけでなく、一般のお客さんも鑑賞可能です。
（0歳から入場可・優先席あり）



【タイムテーブル】

14:00　オープニング・トーク

14:15　オペラ「電話」

14:45　クロージング・トーク

【出演者】

ソプラノ（ルーシー）：脇坂法子　バリトン（ベン）：下林一也　ピアノ：椴山さやか

取材のポイント

英語×多文化共生×オペラ鑑賞　滋賀発の教育型アートプログラム

英語と多文化共生を、オペラ鑑賞を通して学ぶ、という、斬新な試み。
公演の企画者、柳田安代さんは、NPO 法人コレジオ・サンタナ理事であり、ブラジル学校サンタナ学園の支援を中心に、講演や国際交流・多文化共生事業に取り組んでいます。
英語のオペラを語学学習と多文化共生のフィールドにしてしまうのは、アートでない分野からの視点を持つ柳田さんならでは。
他とは一味違う、オペラ体験ができること間違いなしの公演です！



オペラと英語の出張授業

2020 年度から小学校で必修化するなど、熱心さを増す英語教育が、オペラとコラボレーション！

アメリカ人の英語の先生とプロのオペラ歌手がタッグを組み、愛荘町立秦荘中学校とブラジル学校サンタナ学園、フリースクールで楽しい出張授業を行います。

プロポーズのライバルは電話！？　メノッティの楽しいオペラ

彼女が電話に夢中で、プロポーズができない。
どこか身につまされる設定のオペラ「電話」の上演時間は、なんと 30 分という短さです。
ジャン＝カルロ・メノッティ（1911-2007）は、イタリア生まれ、アメリカで活躍した作曲家。史上初のテレビ用のオペラを作るなど、劇場でオーケストラにより演奏する形式にこだわらず、オペラという芸術を柔軟に用いたことや、作曲・台本・演出を手掛けた、ドラマ作りのたくみな人物であることが特徴です。
作曲家自身の手による台本は、楽しい会話劇。企画者の柳田さんによると、中学生でも理解できる、カジュアルな英語だそう。
公演当日は、字幕を流しません。みんなで一緒に、英語のオペラに耳をすませましょう！

記者発表　登壇者プロフィール

柳田安代（MEET BY CHANCE 代表）



2017 年に滋賀県に移住しブラジル人学校サンタナ学園と出会い、国際交流・多文化共生事業に携わる。外国人の友人達と本やアート、遊びを通じて、多文化共生社会の創生を目指す。

MEET BY CHANCE



国際交流・多文化共生イベント制作団体 MEET BY CHANCE（2025 年 3 月設立）は、滋賀県を拠点に、国籍や文化の異なる人々が互いの違いを認め合い、対等な関係を築きながら共に学び合う場づくりを通して、共感でつながる多文化共生を推進する事業をおこなっています。

「しがアートコラボレーション事業」について

BiWACC では、県内の文化ホールや文化団体と協働し、「しがアートコラボレーション事業」を実施することで、地域の多様な文化芸術創造・鑑賞活動の支援を行っています！

部門名	概要	令和 8 年度 採択・実施数
ホールプロデュース部門	県内文化ホールが対象。舞台芸術を上演するだけでなく、地域に開かれた創作活動の現場としてより一層盛り上がるよう協働で事業に取り組む。	1 件
アートコーディネーター部門	県内に活動の拠点を置くアート NPO や文化団体、文化芸術活動を行う個人を対象。 県内で創作および公開発表を行う事業に取り組む。	9 件

令和9年度の協働事業は現在募集中です。詳細は、こちらのページをご覧ください。

https://biwacc.jp/topic/1676/

「びわ湖芸術文化交流センター　BiWACC（ビワック）」とは

びわ湖芸術文化交流センター（Biwako Arts & Communication Center / BiWACC）は、公益財団法人びわ湖芸術文化財団地域創造部の愛称です。地域の芸術文化活動のパートナーとして、人とひと、地域と芸術をつなぎ、だれもがわくわくするような滋賀をめざして交流と創造の場を育んでいきます。

びわ湖芸術文化交流センター　BiWACC の詳細はこちらのウェブサイトをご覧ください。

https://biwacc.jp/

事業について：https://www.meetbychance37.com

令和８年度しがアートコラボレーション事業／第 56 回滋賀県芸術文化祭参加事業

世界をめぐるコンサート

英語オペラ

―言葉と音楽で
つながる、
多文化共生―

メノッティ作曲

電話

The Telephone





2026 12/8 火

14:00 開演（13:30 開場）

ハーティーセンター秦荘
大ホール



ソプラノ 脇阪法子



バリトン 下林一也



ピアノ 椴山さやか

入場料 高校生以下無料／18歳以上前売り1,000円、当日券1,200円（自由席）

申込みまたはチケット購入方法
オンライン Peatex https://telephone128.peatix.com
電話・窓口 ハーティーセンター秦荘 0749-37-4110 （月曜休館・9:00-17:00）

チケット発売日 2026年9月12日（土）

主催 びわ湖芸術文化交流センター/BiWACC、MEET BY CHANCE、一般社団法人愛荘町文化協会

後援 愛荘町教育委員会、愛荘町国際交流協会、愛荘町立秦荘図書館・愛知川図書館、NPO法人コレジオ・サンタナ

問合せ MEET BY CHANCE 担当：柳田 meetbychance37@gmail.com 080-4295-4483

お申し込みは
こちらから

会場 MAP

BiWACC

この事業は、びわ湖芸術文化交流センターと MEET BY CHANCE、一般社団法人 愛荘町文化協会が協働して実施しています。

令和８年度しがアートコラボレーション事業

世界をめぐるコンサート

英語オペラ 電話 The Telephone

―言葉と音楽でつながる、多文化共生―

英語のオペラ鑑賞と事前学習を通して異文化理解と芸術を学ぶ、滋賀発の教育型アートプログラム。
英語を入り口に、楽しみながらオペラの魅力と異文化の理解を深めてゆきます。

ワークショップ開催

招待校の生徒のお客様は、事前に学校で「英語でオペラを学ぶワークショップ」を行います（一般のお客様はご参加いただけません）。ワークショップの様子はコチラからご覧いただけます。

YouTube「Meetbycahnce」

公演当日のプログラム

14:00- プレトーク
14:15- オペラ『電話』
14:45- アフタートーク

30分で気軽にオペラ！

「オペラ」ときくと、なんだか敷居が高そう…って思いませんか？
この「電話」は約30分間の短めの作品で、オペラデビューにおすすめです。
※日本語字幕はございません

簡単な英語です！

「英語だと内容がわからない…」なんてご心配は無用！中学レベルの基礎的な英語でわかりやすい内容です。

※0歳のお客様からご入場いただけます（優先席あり）。「親子ルーム（5席）」からご鑑賞いただくことも可能です。



ナビゲーター
マーカス

愛知川・秦荘図書館
オペラ関係書籍コーナー
11月28日(土)～12月13日(日)
オペラの世界を知るための厳選された書籍をご紹介します！

メノッティ作曲「電話」

イタリア生まれのアメリカの作曲家メノッティ脚本・作曲による30分の英語のオペラ。
便利なはずの機械に振り回される人間の様子をコミカルに、そしてチャーミングに描く。

時は1947年。どんなに遠く離れた相手でもダイヤルを回せば繋がれる電話に人々が夢中になっていた頃のお話。出張前のベンは一刻も早く恋人のルーシーにプロポーズをしたいのに彼女は電話でおしゃべりに夢中。鳴り止まらない電話、止まらないルーシーのおしゃべり、迫り来る電車の時間…果たしてベンはルーシーに思いを伝えることができるのでしょうか？

出演者

脇坂法子（わきさか・のりこ）
ソプラノ（ルーシー役）
大阪音楽大学声楽科首席卒業。滋賀大学大学院教育学研究科修了。2021年度平和堂財団芸術奨励賞受賞。主要キャストとして多数のオペラに出演し、「第九」や宗教曲のソリストも務める。びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー。

下林一也（しもばやし・かずや）
バリトン（ベン役）
京都市立芸術大学音楽学部声楽専攻首席卒業。音楽学部賞受賞。同大学大学院修士課程修了。松方ホール音楽賞や平和堂財団芸術奨励賞等多数受賞。オペラやコンサートのソリストを数多く務める。現在、大阪音楽大学ミュージカル・コース非常勤講師。

椴山さやか（もみやま・さやか）
ピアノ
滋賀県彦根市出身。京都市立芸術大学卒業。第16回万里の長城杯国際音楽コンクールピアノ部門大学の部第2位。これまでに船橋美穂、野原みどり、ダニエル・シュルマンの各氏に師事。滋賀県立石山高等学校音楽科非常勤講師。



企画・司会

MEET BY CHANCE
マーカス・やすよ

国際交流・多文化共生イベント制作団体MEET BY CHANCE（2025年3月設立）は、滋賀県を拠点に、国籍や文化の異なる人々が互いの違いを認め合い、対等な関係を築きながら共に学び合う場づくりを通して、共感でつながる多文化共生を推進する事業をおこなっています。

@MEETBYCHANCE37